

投稿者・・・匿名

原文のまま記載さ
せて頂きました。

■事実を事実として知ってほしい

パックインジャーナル、とても教えられ、毎週楽しみに見させて頂いております。三月三十一日（土）の慰安婦問題で樋口恵先生の言葉に痛感致しました。昔の朝鮮、慶尚道で小学時代（国民学校）を終えました 81 歳の女性です。 年老いてこんな意見書などお送り致し、気恥ずかしく思いも指南柄、やはり何よりも事実をト思い、申し述べさせていただきます。

樋口先生の言われた通り、「権力を持つ者の言う事はどうしても強制になる」・・・そのお言葉通りだと思います。まして植民地時代です。毎朝、校内のわけの分からない奉安殿に敬礼。教室に入ると、明治天皇・昭憲皇太后の御製・御歌を吟じさせられました。日本に参りましたら、こんなことは行われていませんでした。慰安婦問題は先生の言われた様に畑で働いているのを、引っ張ってきたのではありません。

小学校を出て間もない貧しい農家の娘、数え年十六、七歳と言えば今の十四、五才です。お国のため、東亜共栄圏建設の為！協力を惜しむな！とゆさぶりをかけられます。蛇ににらまれた蛙です。どうしてノウと言えるでしょう？色々な騙し、脅しがあっても、公に出来ない日本の国の大変な機密です。

当時、日本から心温かい教師も赴任してこられました。

姉の担任でしたが、涙をながされてた女の先生を覚えております。こんなひどい事をと、泣かれた意味がわかりませんでした。

「靖国神社に、女衞の様な人が祀られて恥ずかしい！」と樋口先生は言われましたが、軍人の精神安定の為に大事な仕事をした人だと祀っているのでしょうか。田岡さまが「アメリカ軍もひどい事をしてる！」と言われましたが、これはおかしいと思います。戦地でどんな事が行われようが、仕方のない事だと思います。しかし朝鮮で、ではなく船に乗せ日本で集められ、センチまで連れて行かれる！何の仕事か？内容も慰安婦の意味も知らない幼い娘を大勢の兵隊が犯し、性の具にするのです。強制連行も畑にいる娘を――でなく隣人も知らない様、隠密裏に朝鮮を離れば、泣こうがわめこうが強制的に戦地に送り込んだのです。当時、日本は遊郭がありました。朝鮮は徹底した儒教の国、どんな田舎でも『男女、七才にして席を同じゅうせず』が徹底していました。応募など、とんでもない事です。

親も子供自身も居場所もわからず月日が流れ、終戦を迎えたのです。事実を事実として受け止めて欲しいのです。少しでも分かってください。そして歴史を忘れないで下さい。好きな日本の友人、優しい日本の方々に事実を知って欲しいのです。

思いつくまま書き連ねましたが、意のあるところをお汲み取り頂けましたら幸いに存じます。

平成十九年四月十八日 大阪の一老婆